



# インストール ガイド

# システム必要条件

## オペレーティング システム

Nintex Workflow 2010™はMicrosoft Windows Server 2008または2008 R2にインストールする必要があります。

## ブラウザ クライアント

Microsoft Internet Explorer 7.x(ただし Microsoft Internet Explorer 8以降を推奨)。

## ソフトウェア

Nintex Workflow 2010™では、次のソフトウェアがインストールされ、正しく構成されている必要があります。

- ・ Microsoft SharePoint Foundation 2010  
またはMicrosoft SharePoint Server 2010
- ・ SQL Server 2005またはSQL Server 2008

## 目次

### Nintex Workflow 2010™のインストール

|  |   |
|--|---|
| 1.1 インストーラーの実行 .....   | 3 |
| 1.2 ソリューションパッケージの展開 .....  | 4 |
| 1.3 Nintex Workflow 2010™ Enterpriseの機能のインストール(オプションの追加機能) ..... | 5 |
| 1.4 ライセンスのインポート .....  | 6 |

### データベース構成

|                                      |   |
|--------------------------------------|---|
| 2.1 構成データベース .....                   | 7 |
| 2.2 コンテンツデータベースの追加(オプションの追加機能) ..... | 7 |

### Nintex Workflow 2010™サーバー設定の構成

|   |   |
|---|---|
| 3.1 Webアプリケーションのアクティブ化 .....                      | 8 |
| 3.2 Nintex Workflow 2010™ Workflowアクションの有効化 ..... | 8 |
| 3.3 電子メール設定の構成 .....                              | 8 |
| 3.4 LazyApproval™設定の有効化と構成(オプションの追加機能) .....      | 9 |

### 機能のアクティブ化

|                            |    |
|----------------------------|----|
| 4.1 サイトコレクションのアクティブ化 ..... | 10 |
| 4.2 サイトのアクティブ化 .....       | 11 |

### 付録 A

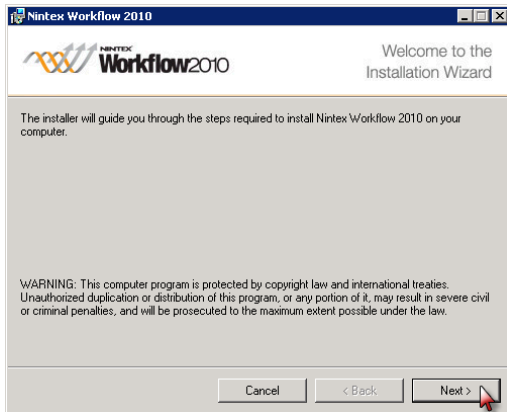
|                               |    |
|-------------------------------|----|
| ユーザーアクセス制御(UAC)についてのご注意 ..... | 12 |
|-------------------------------|----|

# Nintex Workflow 2010™ のインストール

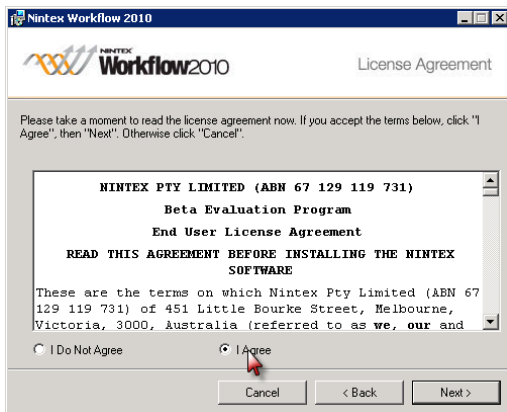
1

## 1.1 インストーラーの実行

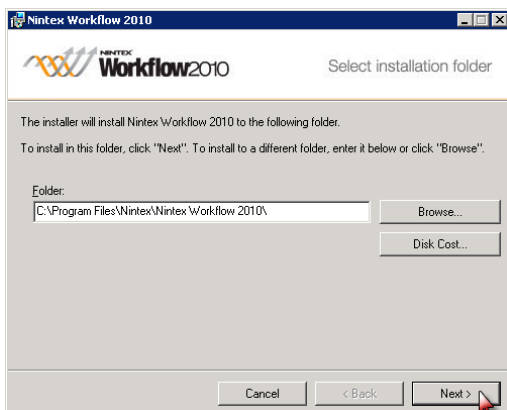
1. ソリューションおよび機能を展開するのに十分な特権を持つSharePoint管理者としてサーバーにログインします。インストーラー ファイル(msi)をダブルクリックして [Next] をクリックします。  
**注意:** ユーザー アクセス制御(UAC)を有効にしている場合は、付録Aを参照してください。



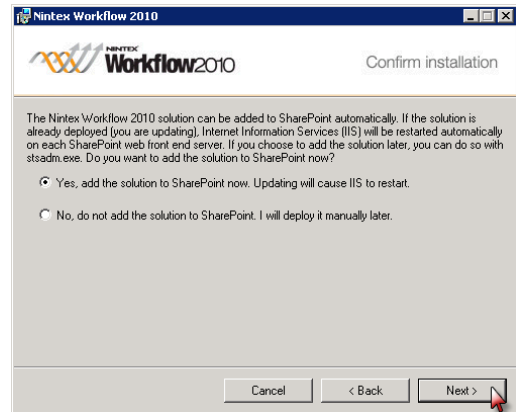
2. 使用許諾契約書に目を通します。インストールを続けるには、[I Agree]を選択する必要があります。[Next]をクリックします。



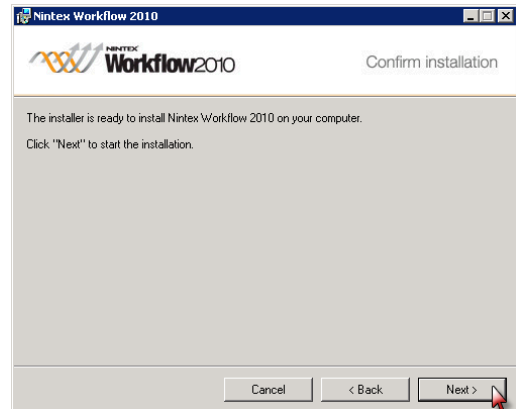
3. Nintex Workflow 2010のインストール場所を選択します。既定の場所はC:\Program Files\Nintex\Nintex Workflow 2010\です。選択後、[Next]をクリックします。



4. SharePointに今すぐソリューションを追加するか(推奨)、後でstsadmを使用してインストールするか(詳細設定)を選択します。



5. 続行する準備ができたというメッセージが表示されます。[Next]をクリックします。



6. 今すぐソリューションを追加することを選択した場合は、コマンドプロンプト ウィンドウが一旦表示されてから非表示になります。少し待つと [Installation Complete] 画面が表示されます。[Close]ボタンをクリックします。SharePoint Central Administrationがバックグラウンドで読み込まれているはずですが。

## 1.2 ソリューション パッケージの展開

1. [サーバーの全体管理]内の[ソリューション管理]に、ソリューション“nintexworkflow2010.wsp”が表示されます。“nintexworkflow2010enterprisefeatures.wsp”というエントリも表示されますが、こちらはEnterpriseバージョンのライセンスをお持ちの場合にのみ展開してください。

| 名前                                       | 状態  | 展開先 |
|--|-----|-----|
| nintexworkflow2010.wsp                   | 未展開 | なし  |
| nintexworkflow2010enterprisefeatures.wsp | 未展開 | なし  |

2. “nintexworkflow2010.wsp”リンクをクリックし、ツールバーの[ソリューションの展開]リンクをクリックします。
3. [展開先]セクションで、[すべてのコンテンツWebアプリケーション] が選択されていることを確認し、[OK] ボタンをクリックします(ボタンはここでは非表示)。

**ソリューション情報**  
展開するソリューションの情報です。

名前: nintexworkflow2010.wsp  
ロケール: 0  
展開先: なし  
展開状態:

**展開する時刻**  
このソリューションを展開するために、タイマー ジョブが作成されました。このソリューションを展開する時刻を指定してください。

ソリューションを展開する時刻:  
 今すぐ実行  
 指定時刻  
 8/5/2010 10 PM 00

**展開先**  
このソリューションを展開する Web アプリケーションの選択:  
 すべてのコンテンツ Web アプリケーション

**警告:** このソリューションを展開すると、グローバル アセンブリ キャッシュにアセンブリが配置されます。これによって、ソリューション アセンブリに完全な信頼が付与されます。ソリューションの提供元を信頼しない場合は、先に進まないでください。

4. 少したつと、[ソリューション管理]ページに戻ります。Nintex Workflow 2010™が[展開済み]として表示されているはずです。

### 1.3 Nintex Workflow 2010™ Enterpriseの機能のインストール (オプションの追加機能)

1. [サーバーの全体管理]で[システム設定]を選択し、さらに[ファーム管理]セクションの[ファームソリューションの管理]を選択します。

|   |   |      |                        |
|---|---|------|------------------------|
| サーバーの全体管理<br>アプリケーション構成の管理<br>システム設定<br>監視<br>バックアップと復元<br>セキュリティ | 名前                                      | 状態   | 展開先                    |
|   | ninteworkflow2010.wsp                   | 展開済み | http://sharepoint2010/ |
|   | ninteworkflow2010enterprisefeatures.wsp | 未展開  | なし                     |
|   |   |      |                        |

2. "ninteworkflow2010enterprisefeatures.wsp"リンクをクリックし、[ソリューションの展開]をクリックします。

|  |  |   |  |
|--|--|---|--|
| サーバーの全体管理<br>アプリケーション構成の管理<br>システム設定<br>監視<br>バックアップと復元<br>セキュリティ<br>アップグレードと移行<br>アプリケーションの全般設定<br>Nintex Workflow の管理<br>構成ウィザード | <a href="#">ソリューションの展開</a>   <a href="#">ソリューションの削除</a>   <a href="#">ソリューションに戻る</a> |   |  |
|  | 名前:  | ninteworkflow2010enterprisefeatures.wsp |  |
|  | 種類:  | コア ソリューション                              |  |
|  | Web アプリケーション リソースを含む:  | はい                                      |  |
|  | グローバル アセンブリを含む:  | はい                                      |  |
|  | コード アクセス セキュリティ ポリシーを含む:   | いいえ                                     |  |
|  | 展開先サーバーの種類:  | フロントエンド Web サーバー                        |  |
|  | 展開状態:  | 未展開                                     |  |
|  | 展開先:   | なし                                      |  |
|  | 最終処理の結果:   | ソリューションで処理が実行されませんでした。                  |  |

3. [展開先]セクションで、[すべてのコンテンツWebアプリケーション]が選択されていることを確認し、[OK]ボタンをクリックします(ボタンはここでは非表示)。

|  |  |   |
|--|--|---|
| サーバーの全体管理<br>アプリケーション構成の管理<br>システム設定<br>監視<br>バックアップと復元<br>セキュリティ<br>アップグレードと移行<br>アプリケーションの全般設定<br>Nintex Workflow の管理<br>構成ウィザード | <b>ソリューション情報</b>   | 名前: ninteworkflow2010enterprisefeatures.wsp   |
|  | 展開するソリューションの情報です。  | ロケール: 0   |
|  |  | 展開先: なし   |
|  | <b>展開する時刻</b>  | 展開状態:   |
| このソリューションを展開するために、タイマー ジョブが作成されました。このソリューションを展開する時刻を指定してください。  | ソリューションを展開する時刻:  |   |
|  | <input checked="" type="radio"/> 今すぐ実行<br><input type="radio"/> 指定時刻:<br>8/5/2010 11 PM 00 |   |
|  | <b>展開先</b>   | このソリューションを展開する Web アプリケーションの選択:   |
| ソリューションは、Web アプリケーションを対象範囲とするリソースを含んでおり、特定の Web アプリケーションに展開されます。ソリューションを展開する Web アプリケーションを選択してください。                                | <input type="text" value="すべてのコンテンツ Web アプリケーション"/>  | <b>警告:</b> このソリューションを展開すると、グローバル アセンブリ キャッシュにアセンブリが配置されます。これによって、ソリューション アセンブリに完全な信頼が付与されます。ソリューションの提供元を信頼しない場合は、先に進まないでください。 |

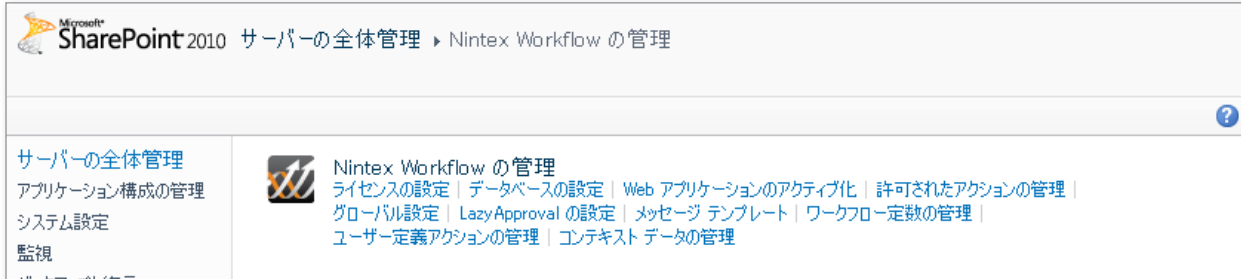
4. 少したつと、[ソリューション管理]ページに戻ります。NintexWorkflow2010EnterpriseFeatures.wspが[展開済み]として表示されているはずですが、"NintexWorkflow2010EnterpriseFeatures.wsp"を展開する手順を再度繰り返し、[サーバーの全体管理]Webアプリケーションを[展開先]に選択します。

|  |   |   |
|--|---|---|
|  | <b>展開先</b>  | このソリューションを展開する Web アプリケーションの選択:   |
|  | ソリューションは、Web アプリケーションを対象範囲とするリソースを含んでおり、特定の Web アプリケーションに展開されます。ソリューションを展開する Web アプリケーションを選択してください。 | <input type="text" value="http://sharepoint2010:10000/"/>   |
|  |   | <b>警告:</b> このソリューションを展開すると、グローバル アセンブリ キャッシュにアセンブリが配置されます。これによって、ソリューション アセンブリに完全な信頼が付与されます。ソリューションの提供元を信頼しない場合は、先に進まないでください。 |

**注意:** これはSharePointサーバーの全体管理から管理レポートを実行するために必要です。

## 1.4 ライセンスのインポート

1. 製品の全機能を使用できるようにするには、完全版製品ライセンスまたは評価版ライセンスのライセンスファイルをNintexから受け取る必要があります。受け取ったライセンスファイルは、SharePointサーバーの全体管理にインポートする必要があります。[サーバーの全体管理]内の[Nintex Workflow管理]セクションで、[ライセンス]リンクをクリックします。



2. Nintex[ライセンス]ページの[インポート]ボタンをクリックします。
3. [参照]ボタンでライセンスファイルを見つけ、見つかったら[インポート]ボタンをクリックします。



4. [ライセンス]情報が表示されます。



これでNintex Workflow 2010™のデータベース構成に進むことができます。

# データベース構成

## 2.1 構成データベース

1. [Nintex Workflowの管理]セクションで[データベースの設定]をクリックします。
2. [構成データベース]の下の[作成]ボタンをクリックします。
3. データベースサーバーの名前を入力します(既定のSharePointデータベースサーバーが既定の設定となります)。

4. データベースの名前を入力して[OK]をクリックします。Nintex Workflow 2010™では複数のデータベースを使用して、1つを構成に、その他をコンテンツに使用することができます。既定では構成データベースはコンテンツデータベースとなっております。必要に応じて、オプションとしてもっとデータベースを追加することができます。

**注意:** 小規模なファームシナリオではコンテンツと構成データベースに同一のデータベースを使用するのが適切です。複数のコンテンツデータベースを追加すると、Nintex Workflow 2010™は自動的に各サイトコレクション内のワークフローを別々のコンテンツデータベースに配布し、負荷を分散します。

## 2.2 コンテンツデータベースの追加(オプションの追加機能)

1. [Nintex Workflowの管理]セクションで[データベースの設定]をクリックします。
2. [コンテンツデータベース]セクションで[コンテンツデータベースの追加]をクリックします。

3. 2.1章の手順3~4を繰り返します。
4. [構成データベース]セクションに2つのコンテンツデータベースの接続文字列が表示されます。最初のデータベースは2.1章で作成されたもの、そして新規のデータベースはこの章で実行されたものです。

# Nintex Workflow 2010™サーバー設定の構成

3

## 3.1 Web アプリケーションのアクティブ化

1. [Nintex Workflow管理]セクションで[Web]アプリケーションのアクティブ化をクリックします。
2. 既定のWebアプリケーション名が自動選択されます。[アクティブ化]ボタンをクリックします。

## 3.2 Nintex Workflow 2010™ Workflow アクションの有効化

1. [Nintex Workflow管理]セクションで[許可されたアクションの管理]をクリックします。
2. Workflow Designerに表示するアクションのボックスにチェックマークを入れて、[OK]をクリックします(ここでは非表示)。

| カテゴリ                                | 名前                     | 説明                              |
|-------------------------------------|------------------------|---------------------------------|
| <input checked="" type="checkbox"/> | プロビジョニング サイト コレクションを作成 | SharePointサイト コレクションを作成します。     |
| <input checked="" type="checkbox"/> | プロビジョニング サイト コレクションを解除 | SharePoint サイト コレクションを解除します。    |
| <input checked="" type="checkbox"/> | プロビジョニング サイトの作成        | SharePointサイトを作成します。            |
| <input checked="" type="checkbox"/> | プロビジョニング サイトの削除        | SharePointサイトを削除します。            |
| <input checked="" type="checkbox"/> | ユーザー操 Flexiタスクの割り当て    | 構成可能な結果をサポートするタスクを作成し、割り当てます。   |
| <input checked="" type="checkbox"/> | ユーザー操 To Doタスクを割り当て    | SharePointタスクを作成し、割り当てます。       |
| <input checked="" type="checkbox"/> | ユーザー操 タスク アラーム         | 指定された時間後にタスク担当者にアラームを送信します。     |
| <input checked="" type="checkbox"/> | ユーザー操 データのリクエスト        | ユーザーにフォームを書き込ませるタスクを作成し、割り当てます。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | ユーザー操 レビューのリクエスト       | ユーザーにコメント入力を要求するタスクを作成し、割り当てます。 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | ユーザー操 ワークフロー タスクの委任    | タスクの委任を別のユーザーに依頼します。            |

## 3.3 電子メール設定の構成

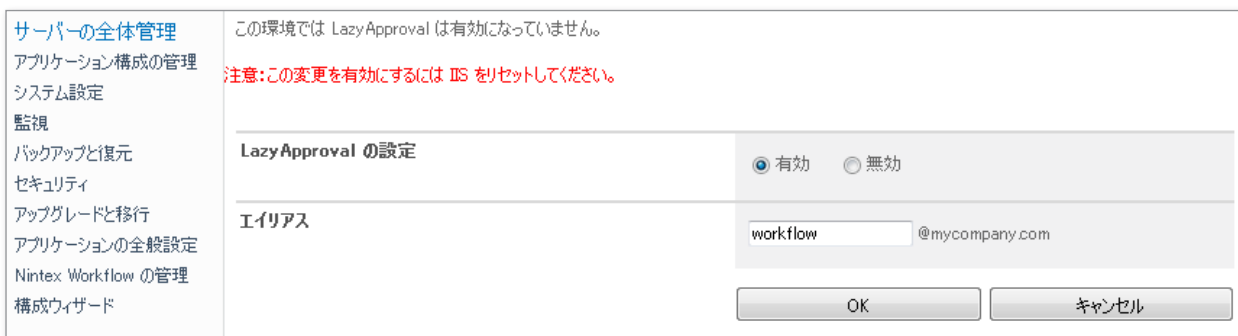
1. [Nintex Workflow管理]セクションで[グローバル設定]をクリックします。
2. 使用環境に適した詳細を入力し、[OK]ボタンをクリックします。

### 3.4 LazyApproval™設定の有効化と構成(オプションの追加機能)

1. [Nintex Workflow管理]セクションで[LazyApproval設定]をクリックします。
2. [サーバーからの受信メールを設定]リンクが表示された場合、この設定がSharePoint用に構成されていないことを示します。SharePoint構成マニュアルの説明に従って構成してください。構成が完了すると、このページに戻ります。設定の構成が終わると、[LazyApprovalの有効化/無効化]リンクが表示されるので、このリンクをクリックします。



3. [有効]オプションを選択します。通知を送信したりLazyApprovalの返信を受けたりする際の別名に使う「エイリアス」名の入力を求められます。[OK]ボタンをクリックします。



4. LazyApproval処理が認識する使用可能な単語のリストが表示されます。独自の判断で語句を追加したり削除したりできます。



# 機能のアクティブ化

## 4.1 サイトコレクションのアクティブ化

1. Nintex Workflow機能をアクティブ化するには、最上位サイトレベルのホームページに移動し、[サイトアクション]>[サイト設定]の順にクリックします。



2. 右側の[サイトコレクションの管理]で[サイトコレクションの機能]をクリックします。



3. [Nintex Workflow 2010]セクションの[アクティブ化]ボタンをクリックします。



4. 少し待つとページが更新され、ステータスが[アクティブ]になります。
5. このサイト コレクションの サイトでMicrosoft InfoPath2010を使用してデザインした開始フォームやタスクフォームを使用するには、[Nintex Workflow 2010 InfoPathフォーム]セクションで[アクティブ化]をクリックします。
6. このサイト コレクションのサイトでNintex Workflow 2010™のWebパーツを使用するには、[Nintex Workflow 2010 Webパーツ]セクションで [アクティブ化]をクリックします。
7. このサイト コレクションのサイトでNintex Workflow 2010™ EnterpriseのレポートWebパーツを使用するには、[Nintex Workflow 2010レポートWebパーツ]セクションで[アクティブ化]をクリックします。この機能はEnterprise版のみです。

これでサイトでもNintex Workflow 2010™機能をアクティブ化できるようになります。

## 4.2 サイトのアクティブ化

サイト用にNintex Workflow 2010™ を有効にする方法は、サイトコレクションを有効にする手順と同じですが、手順2だけが異なります。

1. 最上位サイト レベルのホーム ページで[サイトアクション]>[サイト設定]をクリックします。



2. 右側の[サイトアクション]で[サイト機能の管理]をクリックします。



3. [Nintex Workflow 2010™]セクションの[アクティブ化]ボタンをクリックします。



4. 少し待つとページが更新され、ステータスが[アクティブ]になります。
5. サイト コレクションで[Nintex Workflow 2010 EnterpriseレポートWebパーツ]がアクティブ化されていて、この機能をこのサイトで使用したい場合は、[Nintex Workflow 2010 Enterpriseのレポート]セクションで[アクティブ化]をクリックします。この機能はEnterprise版のみです。

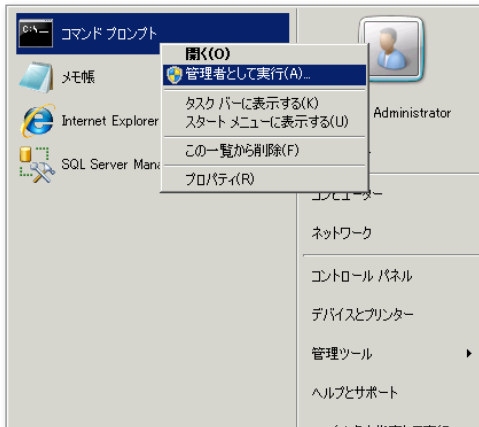
これでNintex Workflow 2010™ の操作およびデザインが可能になります。

# 付録A

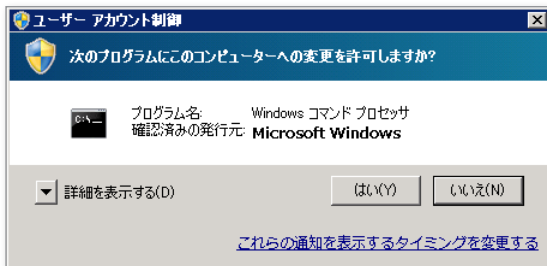
## ユーザーアクセス制御(UAC)についてのご注意

使用環境でUACが有効になっている場合は、管理者特権でmsiを実行する必要があります。

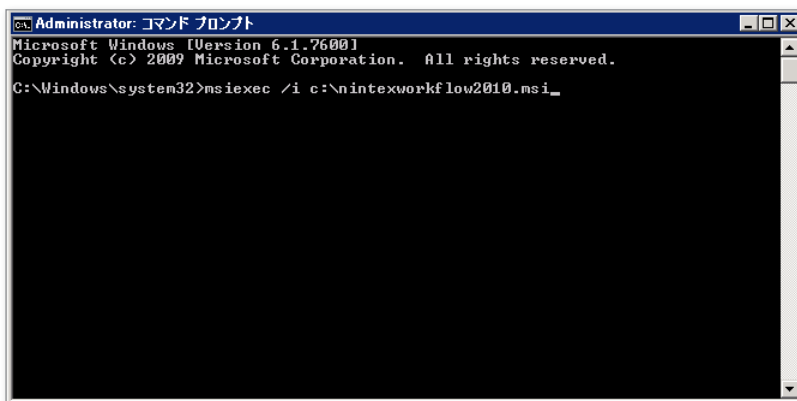
1. [スタート]メニューをクリックし、[コマンドプロンプト]オプションを選択します。[管理者として実行]を選択します。



2. [はい]ボタンをクリックします。



3. 「msiexec /i c:\nintexworkflow2010.msi」というコマンドを入力します。



**注意:** パスをmsiファイルのダウンロード先の場所に置き換えます。

[目次に戻る](#)